

# こくぎん新聞

第 2 号  
2024年10月吉日

発行:こくぎんクラブ幹事会  
電話:048-958-2293  
HP: <https://kokugin.sakura.ne.jp/>

## 一般社団法人ライフネットワーク

一般社団法人ライフネットワークは、現代社会の複雑化や高齢化に伴う様々な問題に直面している方々を支援するために設立された非営利法人です。元国民銀行のメンバーを中心に、安原仁日代表理事他十人によって運営を行っています。

主な事業内容は以下の通りです。

- ① 相続・遺言の相談支援… 相続や遺言の相談を受け専門的なアドバイスを提供します。
- ② 高齢者の生活支援相談… 高齢者が直面する日常生活の問題や困難の支援を行います。
- ③ 各種社会生活支援セミナーの開催、社会生活に役立つ様々なセミナーを開催し、知識やスキルの上ををサポートします。

### 相談事例

① 親の死亡後、兄弟4人で世田谷の不動産を巡って争いが発生したと長男から相談がありました。

対応… ファイナンシャルプランナーが相談を受け、数回の家族会議を開催し、全員の合意を得て、不動産を売却し、全員で均等に相続となりました。長男家族には、新しい物件と住宅ローンの手続きをライフネットワークで行い、無事に解決しました。

② 深谷市の母親が、アパートを時価の半値で不動産業者と契約していることが発覚し、長女から相談の連絡がありました。

対応… 弁護士が不動産業者に法律違反を電話で指摘し、相手が弁護士名の電話で驚いて契約破棄で無事に問題解決となりました。

他にも、二代にわたって不動産の相続登記がされず相続人が十二人もいて、どうしたらよいのかなど、の複雑な相談もありました。

ライフネットワークは、税理士、弁護士、社会保険労務士等士業他、専門家集団です。知り合いでも困ったことがありましたら気軽にご利用ください。



HP: <https://www.life-network.net>

## 東信用組合 専務理事 業務部長 風戸 健一様

風戸健一（昭和53年入行）と申します。こくぎん時代は、竹町、武蔵境、原宿、目黒、市川、経営管理部でした。こう書くだけでも、お世話になった銀行の皆様、お客さまの顔、なくなった支店の姿が浮かんで来てぐっときます。

現在、墨田区にある小さな信用組合に勤務しています。こくぎんクラブ幹事会から、8月に金融業界新聞ニッキン紙の片隅にわたしの名前をあるのを見つけてくださり、どうしているかとお声かけいただきました。（実際は2回の連載で「私のターニングポイント」と題した記事でした。幹事会・注釈）

私は八千代銀行へは行けず、信用組合へ流れつきました。わずかなこくぎん時代の経験を活かして転職できました。思えば「銀行の破綻」は、私の人生の背骨になっていまして、いま勤務する信用組合の経営や業務を考える上でこくぎんが「よい手本」であったり「反面教師」であったりしています。それは過去のことではなくいまもそうしています。

破綻からの学びはたいへん多いです。なぜ破綻したのかは、当時中堅行員であった私も含めて対応の責任があると思っており、法的に経営者責任で決着し、その後、あの破綻・整理の時代がなかったかのようにと過ぎていくのが少し残念です。金融業界の片隅で、よい経営、価値ある金融のあり方を考え、求め、実践していくことが、他業態へ転職した私の小さな使命と思っています。

最後にPRですが、信用組合はいい職場と思えますが、いま人材逼迫時代です。ご子息さま、お孫さままで、もしご就職にお迷いでしたら、ぜひとも信用組合をご検討ください。私、どこへでもご説明にまいります。



## 東京きらぼしリース 専務執行役員 株式会社 営業統括部長 太田 学様

1987年（昭和62年）4月、国民相互銀行に入行し椎名町支店に配属になり、2021年3月末までの34年間を銀行員として過ごしました。その間、国民銀行の経営破綻報道（1999年4月）、八千代銀行への営業譲渡（2000年8月）、東京三菱発足報道（2014年5月）、そして新銀行東京も合流した3行合併による東京きらぼしが発足（きらぼし銀行の誕生）に至り、自分では転職したつもりが無いままに3社（3行）を経験するという結果となりました。2021年4月、東京きらぼしリース（株）へ出向（後に転籍）となり、リース業界ということもあり初めて転職を経験した感じでした。

現在は同社の専務執行役員として、営業全般およびカーリース部門の担当役員を担っており、日々悪戦苦闘しています。

思い起こせば銀行に入行した時に「必要としているお客さまに適切な金額を融資するのが銀行の仕事」と教わったものですが、時代の経過とともに、資金潤沢な優良先に余分な運転資金を融資したり、資金が必要な先の方に与信が弱くお応えできなかったりということが散見されました。

その点リース業務は、お客さまが設備投資する際に、設備投資額と同額のリースを提供するものなので、必要な物を調達する際にピッタリの額のファイナンスで対応しています。銀行に入った時に教わったことを実践している感じがして、初心に戻って仕事ができており新鮮で楽しく感じています。

現在の会社は神田小川町にあり、3年5カ月通勤しています。国民銀行本店営業部時代は内神田に8年6カ月、八千代銀行神田支店時代は同じ内神田に2年3ヶ月勤務しており、通算14年2カ月を神田界隈で勤務しており、神田は縁のある場所だなと感じています。今年7月には還暦を迎え、あと何年仕事ができるか分かりませんが、お客さまのためになる仕事を続けていきたいと思っています。



近況報告 岩永 誠一様

皆様、お変わりありませんか。私は昭和三十三年入行し、平成元年五月に家庭の事情で中途退職し、九州へ帰ってきました。

爾来早くも三十五年が経ち、齢九十を数える今、年齢とともに体のアチコチにガタがきて、内科、歯科、眼科など定期的に病院に通っていますが、特に悪いところはなく、日常生活に不自由はありません。

さすがにもう定職はありませんが、連れ合いの岩永愛子が経営する介護施設「トリムぬくもいホーム」の経理を手伝い、四百坪ほどの敷地の掃除や庭木の剪定などしながら、週一回のトリム体操、週一〜二回のグランドゴルフ、毎朝のラジオ体操、月三回のゴルフを楽しんでおります。いつまで続くかわかりませんが体が動く限り頑張りたいと思っています。



自宅

トリムという言葉は「船舶のバランスを保つ」という意味のノルウェーの造船用語で、トリム体操とは、船体を人に置き換え、人を中心ともにもバランスのとれた健康体へと導いていくことを目的とした体操で、奥様は日本トリム体操協会の指導者も務めています。(幹事会：注釈)

近況報告 岡本 暁子様

今年で83歳になりました。銀行を定年退職後、病氣一つせず、愛猫の琴音と元気に過ごしています。今やっていることは

- ・ガーデニングを楽しんでいます。手をかければ応えてくれる時期がくれば花や実を着けてくれて季節を教えてください。
- ・北区でやっている筋力アップ体操に週一参加しています。足腰の筋力をつけるためによっています。

趣味で始めた大正琴15年になります。定例の演奏会の他にデイサービスに出向き、ボランティア演奏も行っています。

時折開催されるライブネットワークのセミナーにも毎回参加させていただき、銀行の方々にお会いできるのも楽しみの一つです。今後の目標は、今まで当たり前に行っていたことが、当たり前に出ること、最期迄自分の足で歩くことです。



岡本様は、上の写真は後方、下の写真は後方の右側です。

近況報告 菊池 順様

八丈島に移住しました。昭和51年に入行した菊池順です。

私は昨年3月に63年振りに八丈町の町民になりました。その理由は、父親の実家に誰もいなくなり、家を守るために移住した次第です。

現在は老人会で楽しく、元氣良く活動しています。今の家は全面リフォームが必要な状況で、昨年からリフォームを始めましたが、大工さん不足で作業が進みません。完成の際には、2階の3部屋を利用して民泊を始めるつもりです。当初の予定より遅れましたが、来年5月には開業したいと思っています。

八丈島は歴史、文化、自然、食が豊かで、恵まれている素晴らしい島です。友人、家族と一緒に是非一度（おじやりやれ！）



近況報告 野城 浩二様

昭和58年入行の野城浩二と申します。八王子支店、八丁堀、神田、大塚、動坂

コロナ禍を経て、さぞかし辛い思いをされた方も多いかと存じます。大変にご無沙汰しており、本当に失礼しております。お世話になった「こくぎん」の統合時に退職いたしました。

その後、医療法人社団めぐみ会に入職し、(当時は、医師2名とスタッフ10名でしたが現在は医師百名とスタッフ五百名) 間もなくメディカルサービスの会社を起業しました。(現在は名譽職で細々と活動しています)。この会社では、病院・クリニックの支援、立ち上げ、医師招聘、被災地支援などを行ってきました。現在は、障がい者支援福祉のNPOと農業法人にも関わり、農福連携による社会復帰を少し応援しております。

プライベートでは2人の娘が巣立ち、妻と2人に戻りましたが、4人の孫を良く連れて来ますから華やかです。趣味としては、山歩き、海釣り、還暦の歳から始めたバイク、旅行、スポーツ観戦、少々のお酒などを楽しんでいます。無理せず広く浅く、穏やかであることを目標にしています。皆様とお会いできる機会があれば幸いです。どうかお身体には十分お気を付けてお過ごしください。



近況報告 岩井章則様

銀行を退職し、気がつけばはや20数年。以来、現在も在職中であるメットライフ生命で営業活動を続けています。

生命保険とは困った時にお客様をご支援できる素晴らしい物であり、ご契約いただいた方々に感謝される事も長年続けられた要因かも知れません。またプライベートではゴルフを月に2〜3回、年に数回はこくぎんの大先輩の方々と一緒にゴルフコンペに参加させていただいております。皆さんにお会いするたびに元氣でビックリさせられてます。

こくぎんの方々にお会いするとなぜかホッとしてしまいます。次回のこくぎんクラブでも元氣な皆様にお会いできる事を楽しみにしております。



☆ご支援者様紹介

岩永 誠一様

こくぎん新聞は皆様のカンパで運営されています。新聞を見てよかったです。ありがとうございました。一口千円のカンパをお願いします。

振込口座

三菱UFJ銀行 大塚馬町支店  
普通預金：0917634  
船橋 圭吉(フナバケイキチ)